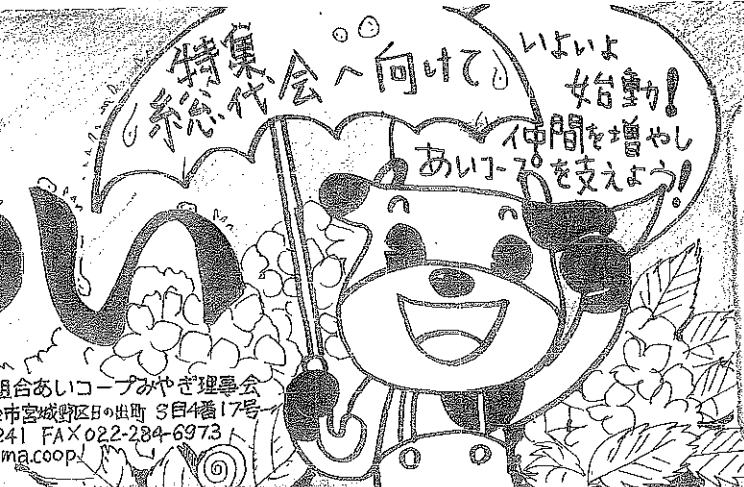


あいあいあい

生活協同組合
Coop あいコープみやぎ
2011年6月13日号

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町 5日4番17号
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973
http://www.inamma.coop/



生産者支援金のお願い

沿岸部を中心に、多くの生産者が被災し、苦境に立たされています。食の自給と安全は生産者の存在なくてはあり得ません。生産者へのお見舞い支援のためのカンパへのご協力をお願いします。
生産者支援金の申し込み番号 000701/10200円
ポイントで支援金にする場合 222223/10500円
(※注文番号欄に申込番号、個数欄に□数を記入して下さい。インターネット注文も同じです)

暮らしと社会を見直す あいコープの原点に立ち！ 脱原発を目指して！

第二号 議案 2011年度事業計画案

- 「あいコープ3年歩いて到達しよう(3年到達ビジョン)」(仮称)を策定し、生産者と共にこの災害を乗り切り、食の自給と安全・自然環境保全・地域福祉推進を実現していきます。
- 原発に依存せず、自然エネルギーを活用し、自然環境を保全する 協同共生社会への転換を追求します。
- 生産者と協同し、エネルギーを含めた地産地消を進め、食の自給と安全を実現していきます。
- 「あいブランド」を核に、あいコープにしかない商品作りを一層進めます。
- あいブランド運動を推進し、商品利用を進めます。
- 命の源である水とエネルギーを大切に、組合員一人一人が自然環境を守ります。
- 社会福祉法人みんなの輪との協同で地域福祉の輪を広げます。
- あいコープふくしまとの協同・連携を深め、東北におけるあいコープ運動を強化します。
- 組合員に評価される「生協職員組織」を実現します。
- 組合員の子育てを応援し、食育を進めます。
- 社会的貢献を進め、あいコープの価値ある存在をアピールします。

議案書説明会で
理事会から説明。
7月7日の総代会で
承認決定されます。



7月7日(木) ハーネル仙台(青・本町 2-12-7)
AM 9:45~

あいコープみやぎの活動は、毎年総代会で、その1年の活動方針を決定することから始まります。
3.11の地震後、「今年は、これで行動」と決まっていた活動方針が大きく変わりました。生活協同組合としての本来の活動目的、「生活をよりよくしていく」事が絵に描いた餅ではいけないということも、震災後、心の底から感じました。
仙台市の菊生浄化センターと山塩浄化センターの甚大な被害で、通常の下水処理が不可能になっています。被災地には海の底に溜まっている汚泥が陸に上がり、「有害化学物質による肺炎で苦しんでいる」というニュースが流れています。そして何よりも心に重くのしかかっている福島原発事故。これらの食の安全をどう確保していくか、生産者の復興をどう進めていくか...
これらもふまえて、2011年度の事業計画案が出来上がりました。この11の項目は、さらに具体的な内容になっています。その内容を議案書説明会で担当理事が説明をします。今年の事業計画を良く知り、活動に生かしていきましょう。
(理事・高崎 あり)



あいのワザ

- 6/21(火) あいコープの出町センター
- 6/22(水) 仙台本庁舎
- 6/23(木) 岩沼本庁舎 集会所 情報センター(PTA)
- 6/24(金) シェルコムせんたい

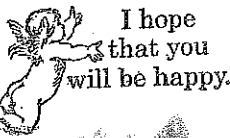
7/1(金) 第一弾 ぶんぶんカフェin泉
子供たちの未来のために
脱原発を志す委員会企画
『毎日の生活、どうしてる?』
会場 シェルコムせんたい 10:00~12:00

7/7(木) 総代会 会場 ハーネル仙台 9:45~
10/30(日) Wa! わあ祭り 会場 センター 10:00~12:00

地域の未来

- 7/4(月) 青い地区 鎌田醤油株式会社おしゃべり会
会場: エルパル仙台 調理室 10:00~12:00
- 7/5(金) おい地区 ぶんぶんカフェinあいのワザ
『お茶の食卓のあじ』
会場: 日の出町センター 10:00~12:00

あいコープが『今、できること』



I hope that you will be happy.

シンレーションサーバイメーター入荷!

あいコープが注文していたシンレーションサーバイメーター(ガンマ線測定器)が、やっと納品になりました。この器械でまずは、県内、近県の産直農家の田畑の土壌を採取し測り定めています。各産地のよおむねの状況をとらえた上で、優先順位を決めて自主測定計画を立て、順次作物(野菜、草、牛乳など)を測定していきます。研究機関の専門家のアドバイスをいざなぎから、機器校正(機器の正確さのチェック、精度の向上)測定技術の習得などを進めています。並って、今後の測定方法、測定計画などについて、皆様にお知らせいたします。

たいせつなこと 『節水・環境負荷低減』について

沿岸の下水処理場は、地震の被害で通常の処理が出来ません!! 合成洗剤は自然分解しませんので、川や海、生き物に負担をかけると、消えてなくなる事があります。環境負荷低減には石けんがオススメです。使った紙も流す、ゴミと一緒には捨てない。沿岸をよそ化学物質の汚泥で苦しんでいる被災地の方達の苦い涙、忘れてはいけません!! 今こそ石けんへきりかえる時です。(理事・高崎かおり)

特集

『報告』しゃぼん玉フォーラムの埼玉

しゃぼん玉フォーラムは協石連(協同組合石けん運動連合)の全国大会です。石けん運動が広がるための情報交換や水環境保全・環境問題をテーマに企画しています。

開催が危ぶまれた「しゃぼん玉フォーラム」は、埼玉県浦和市で5/21~5/22 行われました。

基調講演 part 1 ~ 「ケミカル」化学物質プレッシャーに関するお話

千葉大学大学院 森千聖先生

私達が常に活動の中心に立っている、「使いながら、石けん」との誤解は何故か? 合成洗剤は何か人々環境に悪影響なのかを、専門医の立場からお話しています。これお正に今の宮城にぴったりの話。たった1回ではありませぬ、7月のTV番組のテロップで『合成洗剤は分解されません』との下水に関する呼びかけが流れました。しかし、いったい何人の人がそれを理解したでしょうか。そのためか、その後も同テロップは流れませんが、下水処理場の稼働能を失い、家庭排水がそのまま海に流れている。正に自然界では分解されることのない合成洗剤は、「濯ぎ一回でエコ」などのごまかしのキャッチコピーで使用を続けている人たちがいます。今だから、「使いながら石けん」を皆で広めていかなければ...と再確認できる内容でした。

「ケミカル(化学物質)のない社会」について詳しくお知りになりたい方は、森千聖先生著の『肌のかさねが語る体内汚染』“胎児の複合汚染”をお読み下さい。

基調講演 part 2 ~ 「フローラルベビー」についてのお話

産婦人科医 池川明先生

最近の羊水には、臭いがあり、中には「あのシャンプーの香りと同じ」と思えるものもあるとか...。妊婦さんに確認すると、確かにそのシャンプーを朝晩使っていると言う。中には「どる、臭い」と感じる羊水もあるそうで、原因としては、人工香料の場合は合成洗剤に使われているもの。また後者は食生活、主に低品質の油などが使われる加工食品が疑われるとの話でした。

どちらの問題とも衛生意識が活動で言ってきた事が、いかに大切な事で、自分を守る事=未来を守ることなんだと証明されたような内容でした。胎児は羊水を飲んで消化をしています。この様な状態だと母親の羊水が胎児が浄化しているようなもの。昔に比べ羊水が汚くなった、との感はずいぶんあります。今は周知には利本腹の不安材料がいろいろありますが、せめてこれ以上の負荷を未生人間も含めた自然に与えないよう活動を続けていきたいと思います。理事 工藤 恭子

生産者 つうしん!!

大震災後、宮城県の沿岸部を中心に水産物や畜産物の生産量は著しく減少し、生産者の生活は大きな被害を受け、生産者も苦しんでいる。二水からの復興に向けて、この力を合わせて元気にしていきたいと思っております。

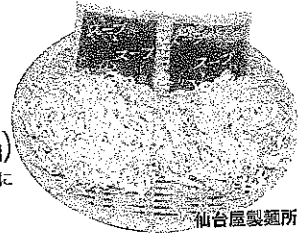
待ちました! 仙台屋製麺さんの焼きそば再開!!

6月1日から再開は、塩釜市にある仙台屋製麺所 永登啓子社長にお聞きしました。

地震発生後、30分で津波が襲い工場内部にも泥が入りてきてしまいました。10日位水が引かずに、身も心も落ちこんで、再建を諦めそうになった時、あいコープの皆さんを始めたくさんの方からの励みや支援をもらい、勇気を取りかき進めました。塩釜に浸かった木製床を未自ら軽便車まで運んで修理してもらい、震災を契機に工場の衛生施設の改善に取り組み、菌の消毒、微生物検査に合格しました。4月末に学校給食用麺を再開。6月、いよいよあいコープ組合員の皆さんにお届けすることができるようになりました。これからも よろしくお願いたします。

より安全安心な商品をお届けしようと一生懸命な永登さん。生協ソース焼きそばを心待ちにしていた我が子と喜び、このおいびを味わえる事に感謝し食べたいと思いました。理事 吉野むつ

196 生協ソース焼きそば 150g×2 ソース2 198円(税込207円) 国産小麦の焼きそば用麺に、独自に開発したソースを添付しました。



仙台屋製麺所代表 永登啓子さん

原発に頼らない社会へ



『知れぬ しゃぼん玉 もの原染には頼りません!』 5月29日のぶんぶんから Vol.3 報告

お問い合わせ先: catebunbun@gmail.com

福島原発事故が未だ収束する様子もなく、二水からどんな生活をしていけばいいの? と不安に思っています。そんな時、正しい情報を早く放射能と前向きに向き合おうかと、くちくちの『ぶんぶんから』でした。ふいふいお菓子とお茶を飲みながら参加者同士が持ち寄った情報も不安、二水からの事を話すのも軽くなっています。今回、お娘さんの話では、現在の状況が続けば仙台に住んでいる私たちが空気中や水、食べ物などから取り込む放射線量は一般の人が浴びる限度の1ミリシーベルト/年を越えたりする可能性が有るそうです。二水からは、身体に負担を落とさないような食料と被曝を減らすための防護策も必要なのである。そして必要ない電気は使わない! 電力に頼りすぎない暮らし方を考えたいと思っていました。太白地区 石川 佳名子